

# 福島県立博物館多言語化事業基盤整備業務委託 仕様書

## 1 業務の目的

福島県立博物館を文化観光拠点とする「三の丸からプロジェクト」における多言語化事業を推進するため、多言語化コンテンツやプロジェクト関連情報をデジタルサイネージ（サーバー・ネットワーク方式）により発信する基盤を整備する。

## 2 業務の内容

本業務は以下の内容からなる。

- (1) コンテンツ配信ネットワークの構築
- (2) コンテンツ配信プログラムの作成及び設定

## 3 コンテンツ配信ネットワークの構築

デジタルサイネージを実現させるため、以下の(1)～(4)区域に所定の機器を導入し、それぞれを接続するネットワーク網を有線LANにより構築する（端末設置個所指示図及び系統図を参照）。

- (1) 効果室及び屋根裏
- (2) 事務室
- (3) エントランスホール
- (4) 総合展示室

## 4 機器の規格・設定等

端末設置個所指示図に則して、以下の項目及び規格・性能・設定条件に従って機器を導入・配置すること。

### (1) 効果室整備

- ア 情報配信サーバ関連機器 1 式  
イ ネットワーク接続機器（施行箇所 屋根裏） 1 式

項 目	規 格 ・ 性 能 ・ 条 件 等
(1) ア-1 サーバ (1台)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ Windows10 IoT Enterprise2019LTSC</li><li>・ CPUインテル®Core™i7-10700Kプロセッサ (8コア/3.8GHz)</li><li>・ メモリ 8.0GB / 最大 128GB</li><li>・ SSD RAID1 1TB / フロントアクセス方式</li><li>・ スーパーマルチドライブ (DVD±R 2層書込)</li><li>・ タワー型 据置タイプ</li><li>・ データバックアップ HDD 1付設 6TB USB 3.2</li><li>・ 自動バックアップ (フル/週一回、及び差分/毎日) 方式</li><li>・ 圧縮バックアップデータ/世代管理方式</li><li>・ ワンクリックデータ復元方式 (障害復旧)</li></ul>

項 目	規 格 ・ 性 能 ・ 条 件 等
(1) ア-2 無停電電源装置(UPS) (1台)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスプレイ LCD タイプ</li> <li>・ラインインタラクティブ運転方式</li> <li>・商用電源、バックアップ時ともに正弦波出力</li> <li>・出力容量 (500VA/450W 以上)</li> <li>・バッテリー期待寿命 (25℃) 5年</li> </ul>
(1) イ-1 L2 スイッチ (屋根裏) (1台)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信速度 (10Mbps/100Mbps/1000Mbps)</li> <li>・RJ-45 ポート×8、SFP スロット×2</li> <li>・スイッチング・ファブリック (40Gbps)</li> <li>・最大パケット転送能力 (14.88Mbps)</li> <li>・VLAN 登録数 (2,048 個以上)</li> <li>・SFP スロット (2 個)、SDHC カードスロット (1 個)</li> <li>・設定 (GUI、CUI)</li> <li>・MAC アドレスベース認証、WEB 認証</li> <li>・外部ページへのリダイレクト機能</li> <li>・収納ボックス (木板 W320×H220 以上)、取付金具付</li> </ul>
(1) システム構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイネージ連携機能構築</li> <li>・ウェブサーバ環境構築 (動画提供ページ作成、各サイネージシステム再生)</li> <li>・映像配信多言語データ管理機能構築</li> <li>・映像配信多言語 API 連携機能構築</li> <li>・管理 ID ひも付け管理システム構築</li> <li>・リモート管理機能構築</li> <li>・複数のプロトコルに対応 (リモートデスクトップ、SSH、HTTPS 等)</li> <li>・タイマー機能 (自動的にトンネリング消滅方式)</li> <li>・リモート接続制限、接続毎の変更機能及び接続方法の自由設定機能</li> <li>・クラウドを利用したリモート接続とし、セキュリティの観点から TeamViewer 等のフリーソフトの使用はしないこと。</li> </ul>
(1) その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既設設備ソフトウェア、保存データ及び博物館が提供する新規データ等の新サーバへの移設、新たなOSでの再構築、整合性をとり、新設ソフトウェアとの連携と構築を行なう。また、既設システムとの動作、検証を行ない、支障を来さないこと。</li> <li>・ソフトウェアインストール設定、新設及び既設設備との連携、試験調整を行うこと。</li> <li>・動画データをアップロードする際、自動エンコードにより、データを圧縮し、任意のライブラリに登録してデータベースによる管理を行うこと。</li> </ul>

項 目	規 格 ・ 性 能 ・ 条 件 等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録可能フォーマット Windows Media Video (.wmv) MPEG-1 (.mpg/.m1v) MPEG-2 (.mpg/.m2v/.m2t/.m2p) MPEG-4 (.mpg/.mp4) H. 264 (.mpg/.mp4/.m4v) AVI (.avi) MOV (.mov) 3GPP (.3gp)3GPP2 (.3g2) Flash Video (FLV) htm.html tlp wav.mp3.au.aif.aiff.wma.mid.midi.mov.mp4 exe jpeg.jpg.gif.png.bmp</li> <li>・映像表示用端末に、登録された内容に基づいて動画選択メニューを表示し、各端末で別々の動画が視聴できること。</li> <li>・選択メニューには、それぞれの展示エリアに応じた文字、動画階層に基づく説明情報、お知らせ情報等を登録し表示できること。</li> <li>・ウェブサーバを構築し、データライブラリのAPIを使用した動画提供ページを作成し、スケジュールにより各サイネージシステムで再生できること。</li> <li>・ウェブページで動画表示するプログレッシブダウンロード形式へのエンコード機能を有すること。</li> <li>・館内案内のための館内地図データを含む多言語等コンテンツをスケジュール管理により表示できること。</li> <li>・ライン系統L2スイッチ（ボックス共）交換を行い、既設品を事務室へ移設すること。</li> <li>・サーバは効果室へ設置し、現有システム機器との接続設定もおこなうこと。</li> <li>・博物館から別途提供するデジタルサイネージ用多言語等コンテンツ素材は約250点の見込みである。</li> </ul>

(2) 事務室整備

ア サイネージ運用・電源管理制御 PC 関連機器

1 式

項 目	規 格 ・ 性 能 ・ 条 件 等
(2) アー1 システムパソコン (1台)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OS : Windows10 pro</li> <li>・ストレージ : 1TB SSD</li> <li>・CPU : Core™ i5-10600K</li> <li>・メモリ : 16GB / 最大 128GB</li> <li>・グラフィック : NVIDIA® GeForce® GT 1030 2GB</li> <li>・光学ドライブ : Blu-ray Disc ドライブ (BDXL™対応)</li> <li>・Office2016 (福島県立博物館ライセンス提供) インストール</li> <li>・マルチカードリーダー、マウス、キーボード、リカバリメディア付属</li> </ul>

項 目	規 格 ・ 性 能 ・ 条 件 等
(2) アー2 ディスプレイ (1台)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・27型LEDバックライト液晶モニター</li> <li>・解像度(実効) : 3840×2160</li> <li>・最大表示色 : 約10.7億色</li> <li>・輝度(標準値) : 350cd/m<sup>2</sup></li> <li>・コントラスト比 : 1300 : 1</li> <li>・視野角 : 左右178° 上下178°</li> <li>・入力 : HDMI、DisplayPort、USB-C</li> <li>・ディスプレイ位置調整 ピボット(回転)、旋回式、傾斜式</li> <li>・ディスプレイスタンド共</li> </ul>
(2) アー3 UTM ファイアウォール (1式)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WAN用インターフェース 2ポート(1Gbps)</li> <li>・DMZ用インターフェース 1ポート(1Gbps)</li> <li>・LANインターフェース 5ポート(1Gbps)</li> <li>・ファイアウォールスループット(10Gbps)</li> <li>・ファイアウォール同時セッション 700,000</li> <li>・ファイアウォール新規セッション/秒 350,000</li> </ul>
(2) その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務室パソコンについては、ソフトインストール及び、既設データの移設設定を行ない、データ管理、プログレッシブダウンロードへの各エンコード機能、サイネージスケジュール作成、既設及び、新設の各システム専用電源管理等の連携と構築を行うこと</li> <li>・既存のサイネージソフトはネットワーク版に更新すること。</li> <li>・既設エントランス放映専用パソコン内のデータをサーバへ移設、設定をすること</li> <li>・L2スイッチはラインシステムの既設品を再設置設定すること</li> <li>・UTMは、別途フリーWi-FiネットワークHUBへ配線し(天井内隠蔽)、接続と設定をすること</li> </ul>

(3) エントランスホール整備

ア 情報発信大型サイネージ関連機器(施行箇所H)	1 式
イ 利用案内配信サイネージ関連機器(施行箇所G1)	1 式

項 目	規 格 ・ 性 能 ・ 条 件 等
(3) アー1 情報発信大型サイネージ用 システムパソコン (1台)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OS : Windows10 IoT Enterprise 2019 LTSC</li> <li>・ストレージ : 256GB SSD</li> <li>・CPU : Core™i5-10500</li> <li>・メモリ : 16GB / 最大128GB</li> <li>・グラフィック : NVIDIA® GeForce® GT 1030 2GB</li> <li>・光学ドライブ : DVD-ROM</li> <li>・サイネージソフトウェア及び映像配信を含む多言語等コンテンツ</li> </ul>

項 目	規 格 ・ 性 能 ・ 条 件 等
	のサーバシステムとの連携と構築を行うこと。
<p>(3) アー2 情報発信大型サイネージ用 ディスプレイ (1台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・液晶表示素子：86V ワイド型（対角 217.427 cm） TFT 液晶</li> <li>・解像度：（最大） 3840×2160</li> <li>・最大表示色：約 10.7 億色</li> <li>・輝度（標準値）：400cd/m<sup>2</sup></li> <li>・コントラスト比：1200：1</li> <li>・視野角 左右 178° 上下 178°</li> <li>・入力：映像 ミニ D-sub15P（3列1系統） HDMI（3系統） / シリアル（RS-232C）</li> <li style="padding-left: 40px;">音声 φ3.5 mmミニステレオジャック</li> <li>・出力：音声 RCA ピン（L/R） IR φ3.5 mmミニステレオジャック</li> <li>・USB：USB2.0</li> <li>・LAN：10BESE-T/100BESE-TX</li> <li>・スピーカー出力：10W+10W</li> </ul>
<p>(3) アー3 情報発信大型サイネージ用 ディスプレイスタンド (1台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・86V ワイド型ディスプレイ専用</li> <li>・ディスプレイ部耐荷重 70kg</li> <li>・移動式φ70 以上双輪キャスター（ダブルロック機構付×4）</li> <li>・木質仕上柱（ディスプレイ縦・横設置タイプ）</li> <li>・ディスプレイ中央部 約 H1,500～1,650 mm 調節可</li> <li>・ディスプレイ背面設置縦置専用 PC ボックス（振動緩和ベース、通気パネル、盗難防止付）</li> </ul>
<p>(3) イー1 利用案内配信サイネージ用 システムパソコン (1台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OS：Windows10 IoT Enterprise 2019 LTSC</li> <li>・ストレージ：256GB SSD</li> <li>・CPU：Core™i5-10500</li> <li>・メモリ：16GB / 最大 128GB</li> <li>・グラフィック：NVIDIA® GeForce® GT 1030 2GB</li> <li>・光学ドライブ：DVD-ROM</li> <li>・サイネージソフトウェア及び映像配信を含む多言語等コンテンツのサーバシステムとの連携と構築を行うこと。</li> </ul>
<p>(3) イー2 利用案内配信サイネージ用 ディスプレイスタンド (1台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・50V ワイド型ディスプレイ用</li> <li>・スチール製 （アジャスター×5・棚板付）</li> <li>・壁寄せタイプ（コーナー設置可）</li> <li>・ディスプレイ部総耐荷重 20kg</li> <li>・パソコン収納ボックス H：138 mm（横・縦置可能）</li> <li>・スリット式、盗難防止装置付</li> </ul>

項 目	規 格 ・ 性 能 ・ 条 件 等
(3) その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信大型サイネージ用ディスプレイは移動式とし、ディスプレイスタンド（パソコン収納ボックス共）に設置、既設ジャンクションの加工、接続、各設定の連携と構築を行なうこと。</li> <li>・ジャンクション部までの配線は隠蔽とする。</li> <li>・ディスプレイ部ケーブル長は、5mとする。</li> <li>・利用案内配信サイネージ用ディスプレイ（50型）は博物館既存品を提供する。</li> <li>・利用案内配信サイネージ用へ、新たな専用電源とLAN配線を行い、既設ネットワークと接続させて構築をすること。</li> </ul>

(4) 総合展示室整備

ア 総合展示室入口サイネージ関連機器（施行箇所G2）	1 式
イ 大テーマサイネージ関連機器（施行箇所A～F）	1 式
ウ 中テーマサイネージ関連機器（施行箇所a1～f1）	1 式
エ ネットワーク関連機器	1 式

項 目	規 格 ・ 性 能 ・ 条 件 等
(4) アー1 総合展示室入口サイネージ用システムパソコン (1台)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OS：Windows10 IoT Enterprise 2019 LTSC</li> <li>・ストレージ：256GB SSD</li> <li>・CPU：Core™i5-10500</li> <li>・メモリ：16GB / 最大 128GB</li> <li>・グラフィック：NVIDIA® GeForce® GT 1030 2GB</li> <li>・光学ドライブ：DVD-ROM</li> <li>・サイネージソフトウェア及び映像配信を含む多言語等コンテンツのサーバシステムとの連携と構築を行うこと。</li> </ul>
(4) アー2 総合展示室入口サイネージ用ディスプレイスタンド (1台)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・50V ワイド型ディスプレイ用</li> <li>・スチール製 (アジャスター×5・棚板付)</li> <li>・壁寄せタイプ（コーナー設置可）</li> <li>・ディスプレイ部総耐荷重 20kg</li> <li>・パソコン収納ボックス H：138 mm（横・縦置可能）</li> <li>・スリット式、盗難防止装置付</li> </ul>
(4) イー1 大テーマサイネージ用システムパソコン (6台)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OS：Windows10 IoT Enterprise 2019 LTSC</li> <li>・ストレージ：256GB SSD</li> <li>・CPU：Core™i5-10500</li> <li>・メモリ：16GB / 最大 128GB</li> <li>・グラフィック：NVIDIA® GeForce® GT 1030 2GB</li> <li>・光学ドライブ：DVD-ROM</li> </ul>

項 目	規 格 ・ 性 能 ・ 条 件 等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>サイネージソフトウェア及び映像配信を含む多言語等コンテンツのサーバシステムとの連携と構築を行うこと。</li> </ul>
<p>(4) イー2 大テーマサイネージ用ディスプレイ (6台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>液晶表示素子：50V ワイド型 (対角 125.73 cm) TFT 液晶</li> <li>解像度 (最大)：3840×2160</li> <li>最大表示色：約 10.7 億色</li> <li>輝度 (標準値)：350cd/m<sup>2</sup></li> <li>コントラスト比：4000 : 1</li> <li>視野角：左右 178° 上下 178°</li> <li>入力：映像 ミニ D-sub15P (3 列 1 系統) HDMI (3 系統) / シリアル (RS-232C) 音声 φ3.5 mm ミニステレオジャック</li> <li>出力：音声 RCA ピン (L/R) I R φ3.5 mm ミニステレオジャック</li> <li>USB：USB2.0 準拠</li> <li>LAN：10BESE-T/100BESE-TX</li> <li>スピーカユニット (20W/ローインピーダンス) 取り付け</li> <li>バスレフルレンジタイプ/ディスプレイリモート連動</li> <li>スピーカ収納ユニット付</li> </ul>
<p>(4) イー3 大テーマサイネージ用ディスプレイ架 (6式)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>50V 専用埋込タイプ (儉鈍方式) アジャスター機能 固定サイズ VESA 400×200 指定色仕上</li> <li>ディスプレイパネル (儉鈍方式) H1,497×W750 指定色仕上 ディスプレイ部開口、パンチング (スピーカ、吸排気)</li> <li>パソコンパネル (儉鈍方式) H588×W750 指定色仕上</li> <li>パソコン収納ユニット、盗難防止、マグネット付</li> </ul>
<p>(4) イー4 大テーマサイネージ用 L2 スイッチ (1台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信速度 (10Mbps/100Mbps/1000Mbps)</li> <li>RJ-45 ポート×8、SFP スロット×2</li> <li>スイッチング・ファブリック (40Gbps)</li> <li>最大パケット転送能力 (14.88Mbps)</li> <li>VLAN 登録数 (2,048 個以上)</li> <li>SFP スロット (2 個)、SDHC カードスロット (1 個)</li> <li>設定 (GUI、CUI)</li> <li>MAC アドレスベース認証、Web 認証</li> <li>外部ページへのリダイレクト機能</li> </ul>
<p>(4) ウー1 中テーマサイネージ用システムパソコン (10台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>OS：Windows10 IoT Enterprise 2019 LTSC</li> <li>ストレージ：256GB SSD</li> <li>CPU：Core™i5-10500</li> <li>メモリ：16GB / 最大 128GB</li> </ul>

項 目	規 格 ・ 性 能 ・ 条 件 等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフィック：NVIDIA® GeForce® GT 1030 2GB</li> <li>・光学ドライブ：DVD-ROM</li> <li>・サイネージソフトウェア及び映像配信を含む多言語等コンテンツのサーバシステムとの連携と構築を行うこと。</li> </ul>
<p>(4) ウー2 中テーマサイネージ用ディスプレイ (10台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・液晶表示素子：43V ワイド型 (対角 107.986 cm) TFT 液晶</li> <li>・解像度 (最大)：3840×2160</li> <li>・最大表示色：約 10.7 億色</li> <li>・輝度 (標準値)：350cd/m<sup>2</sup></li> <li>・コントラスト比：4000 : 1</li> <li>・視野角：左右 178° 上下 178°</li> <li>・入力：映像 ミニ D-sub15P (3列1系統) HDMI (3系統) / シリアル (RS-232C)</li> <li style="padding-left: 2em;">音声 φ3.5 mm ミニステレオジャック</li> <li>・出力：音声 RCA ピン (L/R) IR</li> <li style="padding-left: 2em;">φ3.5 mm ミニステレオジャック</li> <li>・USB：USB2.0 準拠</li> <li>・LAN：10BESE-T / 100BESE-TX</li> <li>・スピーカー出力：10W+10W</li> </ul>
<p>(4) ウー3 中テーマサイネージ用ディスプレイスタンド (8台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スチール製 φ50 mm キャスター ×4 (ストッパー付×2 及びアジャスター×2)</li> <li>・傾斜表示タイプ</li> <li>・総耐荷重 60kg</li> <li>・パソコン収納ボックス H：138 mm (W 及び D は底板サイズ)</li> <li>・スリット式、盗難防止装置付</li> </ul>
<p>(4) ウー4 中テーマサイネージ用パソコン収納ボックス (2台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン収納ボックス H：138 mm (W 及び D は底板サイズ)</li> <li>・スリット式、盗難防止装置付</li> <li>・設置対象のディスプレイスタンドは博物館既存品を提供する。</li> </ul>
<p>(4) ウー5 中テーマサイネージ用 L2 スイッチ (1台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信速度 (10Mbps / 100Mbps / 1000Mbps)</li> <li>・RJ-45 ポート×16、SFP スロット×2</li> <li>・スイッチング・ファブリック (40Gbps)</li> <li>・最大パケット転送能力 (26.78Mbps)</li> <li>・VLAN 登録数 (2,048 個以上)</li> <li>・SFP スロット (2 個)、SDHC カードスロット (1 個)</li> <li>・設定 (GUI、CUI)</li> <li>・MAC アドレスベース認証、Web 認証</li> <li>・外部ページへのリダイレクト機能</li> </ul>



項 目	規 格 ・ 性 能 ・ 条 件 等
(4) エ ネットワーク関連 L2 スイッチ (PoE 給電) (1 台)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通信速度 (10Mbps/100Mbps/1000Mbps)</li> <li>・ RJ-45 ポート×8、SFP スロット×2</li> <li>・ スイッチング・ファブリック (40Gbps)</li> <li>・ 最大パケット転送能力 (14.88Mbps)</li> <li>・ VLAN 登録数 (2,048 個以上)</li> <li>・ SFP スロット (2 個)、SDHC カードスロット (1 個)</li> <li>・ 設定 (GUI、CUI)</li> <li>・ MAC アドレスベース認証、Web 認証、外部ページへのリダイレクト機能</li> <li>・ PoE 最大供給電力 1 ポートあたり 30W</li> </ul>
(4) その他	<p>ア 展示ロビー用サイネージ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サイネージ用ディスプレイ (50 型) は博物館既存品を提供する。</li> <li>・ 総合展示室入口 (G2) の 1 箇所へ博物館が指示する映像配信を含む多言語等コンテンツをネットワーク配信するための設定、連携、構築を行うこと。</li> <li>・ 総合展示室入口へ、新たな専用電源と LAN 配線を行い、既設ネットワークと接続させて構築をすること。</li> </ul> <p>イ 大テーマ用サイネージ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合展示室内の A 原始、B 古代、C 中世、D 近世、E 近・現代、F 自然と人間の 6 箇所 (端末設置箇所指示図参照) へ、博物館が指示する映像配信を含む多言語等コンテンツをネットワーク配信するための設定、連携、構築を行うこと。</li> <li>・ ディスプレイは、既存大テーマパネル部 (バックライト方式) へ各ユニットを加工、設置し既設設備との整合性をとり、フラット仕上げとする。</li> <li>・ 既設設備等を加工する際は、事前に図面等の作成を行い、承認を得ること。なお、加工部の補修を行ない、支柱の切断は行わないこと。</li> <li>・ 総合展示室内 6 箇所へ新たなシステム専用電源と LAN 配線を行い、既設ネットワークと接続させて構築をすること。</li> </ul> <p>ウ 中テーマ用サイネージ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合展示室内の a1・a2 原始、b1・b2 古代、d1・d2 近世、e1・e2 近・現代へ各 2 箇所、c1 中世、f1 自然と人間の各 1 箇所の合計 10 箇所へ、博物館が指示する映像配信を含む多言語等コンテンツをネットワーク配信するための設定、連携、構築を行うこと</li> <li>・ ディスプレイは移動式としスタンド (パソコン収納ボックス共) に設置、ジャンクション方式の加工、接続、各設定、連携、構築を行なうこと</li> </ul>

項 目	規 格 ・ 性 能 ・ 条 件 等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスプレイスタンド2台は博物館既存品を提供する</li> <li>・移動式に伴う各ケーブルは、d1近世を10m（スリーブ／黒色共）・その他は3m（スリーブ／黒色共）とする</li> <li>・総合展示室内10箇所へ新たなシステム専用電源とLAN配線を行い、既設ネットワークと接続させて構築をすること。</li> </ul>

(5) データ設定、システム構築、総合試験調整

1 式

目的達成のために、以下の総合的なシステム構築と設定、総合試験調整を行うこと

項 目	規 格 ・ 性 能 ・ 条 件 等
(5) ア 電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合展示室大テーマ・中テーマ等のシステム機器電源は、屋根裏等の分電盤より供給を行うこと。</li> <li>・電源は、総合展示室等や展示品等の一斉操作回路とは別の、システム機器専用回路（常時ON）とし、消費電力容量計算による余裕ある回線選択及び、配線をすること。</li> <li>・電源供給元分電盤及び、配線ルート等は調査申請のうえ、許可を得て接続、測定試験調整を実施すること。</li> <li>・システム機器用電源への雷サージ対策を講じること</li> </ul>
(5) イ 配線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合展示室をはじめ各部防火区画となっているので、貫通、配線等の際は、事前に申請、許可を得て、法的に適正な処理を施すこと。</li> <li>・総合展示室入口、エントランス等は壁面が凝灰岩リブ付となっているので配線等には充分注意をし、施工前に承諾を得ること。</li> <li>・配線、配管は隠蔽とし、露出する場合は展示品及び、来館者等に違和感を与える事の無いように同色で行い、事前に承諾を得ること。</li> </ul>
(5) ウ ソフト・データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多言語ソフト等のインストール設定や各種データ作成の際は、十分な打ち合わせを行い実施すること。</li> <li>・関連する設備のハードウェア、ソフトウェア、保存データ等に於いては十分な理解を得て作業にあたること。</li> </ul>
(5) エ その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高所作業車や足場を使用する際は、展示物等に損傷を与える事の無いように、養生等を行ない、細心の注意を払うこと。</li> <li>・作業については、基本的に毎週月曜日の休館日とし、作業終了時は、都度復元し翌日の開館に支障を来すことの無いようにすること</li> <li>・撤去機器については適切な処理と、データ消去及びHDD等は物理的破壊及び証明書及び、産業廃棄物処理報告書（マニフェスト）の提出を行うこと</li> </ul>

## 5 コンテンツ配信プログラムの作成及び設定

- (1) 博物館の既存データおよび新たに提供するデジタルサイネージ用多言語等コンテンツ素材（約250点）により、サイネージ機器へ配信するプログラムを作成すること。
- (2) プログラムは、日本語・英語・簡体字・繁体字の4言語コンテンツ素材（テキスト・画像・映像）を組み合わせたものとし、画面構成・表示時間・画面展開・配信スケジュール・カレンダー設定について博物館からの指示に従ってサイネージソフトにより作成すること。
- (3) 19箇所のサイネージには、オリジナルのプログラムを配信する。
- (4) 各プログラムには「三の丸からプロジェクト」の説明やイベント案内などを共通する情報を随時追加できるようにすること。
- (5) 情報発信大型サイネージ（H）には必要に応じて、番組プログラムの一覧を作成し、再生コンテンツのタイトル表示を強調できるようにすること。
- (6) 作成したプログラムは試験運用期間を設け、確実に配信できることを確認すること。
- (7) プログラムの表示コンテンツの入れ替えや更新を博物館が容易にできるように配信プログラムのフォーマットを作成し、操作マニュアルを作成した上で博物館職員に研修すること。

## 6 保証期間及び瑕疵担保責任期間

正常な使用による機器の故障についての保証期間は、製造者保証契約約款に基づき、引き渡し完了日より1年間とする。ただし、ディスプレイ、無停電電源装置は3年間、サーバ、パソコン、L2スイッチは5年間とする。

ソフトウェア及び、データのインストール、システム構築、移設、OS変更に伴う設定等の瑕疵担保責任は、関連する既設システムを含め、引き渡し完了日より1年間とする。

## 7 業務の完了期限

令和4年3月22日（火）

## 8 協議

本仕様書に明記なき事項について疑義が生じた場合は、その都度協議を行い決定するものとする。



天井は場所によりアルミ特殊ルーバーや吹抜けとなっている

参考寸法

■ 大ターマディスプレイ  
A-F (固定式6箇所)

■ 中ターマディスプレイ  
a 1~i 1 (移動式10箇所)

■ 展示室入口・受付ディスプレイネットワーク  
G 1~G 2 (移動式2箇所)

■ エントランスホールディスプレイ  
H (移動式1箇所)

### 端末設置箇所指示図

# 多言語化事業基盤整備業務 系統図

